

資料 4

外部テストを用いたジェネリックスキルの伸長測定

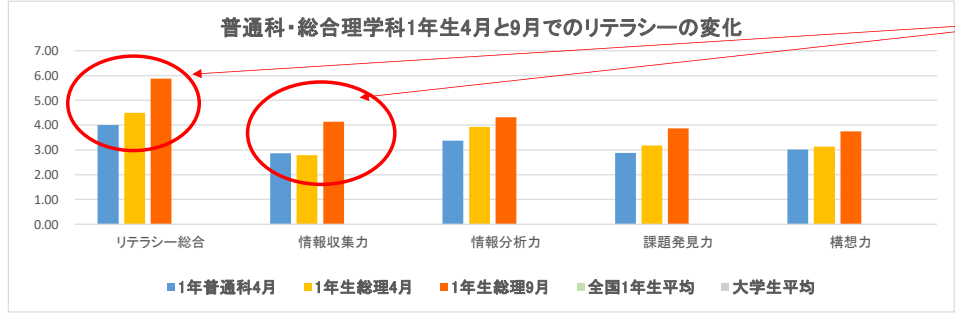
普通科・総合理学科1年生4月と9月でのリテラシーの変化

	リテラシー総合	情報収集力	情報分析力	課題発見力	構想力
1年普通科4月	4.00	2.86	3.37	2.88	3.01
1年生総理4月	4.50	2.78	3.93	3.18	3.13
1年生総理9月	5.87	4.13	4.31	3.87	3.74
全国1年生平均					
大学生平均					

- ・サイエンス入門 実験や観察をもとに考察し毎回のレポート作成と教員の添削を繰り返すプログラム（9月までに13回）
 - ・サイエンスツアー 外部での研修 大学や研究機関での実験や見学 その後、ディスカッションや発表を行うプログラム（関東3日 大阪大1日 産業メッセ1日 臨海実習3日等）
- 課題研究の準備として強く意識したこれら半年間のプログラムを通して、リテラシー（知識を活用して課題を解決する力）は大きく伸びたが、コンピテンシー（経験を積むことで身についた行動特性）は短い期間（6ヶ月）では大きく変化していない。

普通科・総合理学科1年生4月と9月でのコンピテンシーの変化

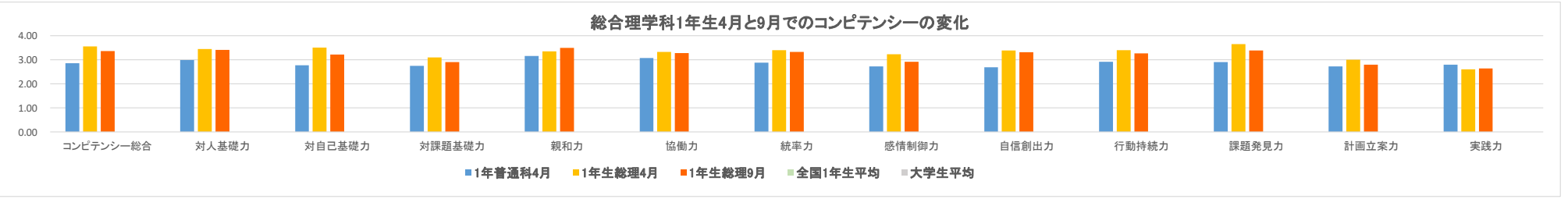
	コンピテンシー総合	対人基礎力	対自己基礎力	対課題基礎力	親和力	協働力	統率力	感情制御力	自信創出力	行動持続力	課題発見力	計画立案力	実践力
1年普通科4月	2.85	2.99	2.77	2.74	3.15	3.07	2.88	2.72	2.69	2.91	2.90	2.72	2.80
1年生総理4月	3.55	3.45	3.50	3.10	3.35	3.33	3.40	3.23	3.38	3.40	3.65	3.00	2.60
1年生総理9月	3.36	3.41	3.21	2.90	3.49	3.28	3.33	2.92	3.31	3.26	3.38	2.79	2.64
全国1年生平均													
大学生平均													



1学期から夏休みにかけてのサイエンス入門・サイエンスツアーで特に育成された力

リテラシーそれぞれの力の簡単な定義

情報収集力	課題発見・課題解決に向けて、幅広い観点から適切な情報源を見定め、適切な手段を用いて情報を収集・調査し、それらを適切に整理・保存する力
情報分析力	事実・情報を思い込みや臆測ではなく、客観的にかつ多角的に整理・分類し、それらを統合して隠れた構造を捉え、本質を見極める力
課題発見力	さまざまな角度、広い視野から現象や事実を捉え、それらの背後に隠れているメカニズムや原因について考察し、解決すべき課題を発見する力
構想力	さまざまな条件・制約を考慮しながら問題解決までのプロセスを構成し、その過程で想定されるリスクやその対処方法を構想する力



コンピテンシーそれぞれの力の簡単な定義

対人基礎力		対自己基礎力		対課題基礎力	
親和力	人に対して、興味をもって相手の話を聞き、相手の立場や気持ちを思いやり、共感を受けとめる、また多様な価値観を受け入れる。さらに、そうした関わりから、相手と信頼関係を築いたり人脈を広げていく力	感情制御力	自分の感情や気持ちを認識して客観的に言動をコントロールしたり、ストレスをうまく処理することができる。また、プレッシャーを感じる場面でも、感情をコントロールして力を発揮する力	課題発見力	適切な方法で情報を収集し、事実に基づいて客観的に分析、本質的な問題を見極める。さらに、様々な角度から課題を分析し、原因を明らかにする力
協働力	周囲や集団において、自分の役割を理解した上で互いに連携・協力、助け合ったり、情報を共有して一緒に物事を進めていく。さらに、他者の相談に乗るなど働きかけも、動機づける力	自信創出力	自己の強み弱みを認識した上で、自分に自信をもって物事に取り組むことができる。また、常に学ぶ姿勢をもち、経験の機会をうまくとらえて挑戦していく力	計画立案力	明確な目標を立て、その実現に向けて効果的な計画を立てる。また、立てた計画に対して目標の実現や課題解決に向けての見通しを立てたり、どんな問題が起こり得るかのリスクを想定して事前に対策を講じる力
統率力	集団の中で、自分の意見を主張すると同時に、議論の活発化や発展のために集団に働きかける。また、必要に応じて、意見の調整、交渉、説得し、集団を合意に導く力	行動持続力	主体的に行動し、物事には最後まで粘り強く取り組むことができる。また、良い行動を習慣化する力	実践力	計画をすすんで実行し、状況に応じて柔軟に行動を修正する。また、行動を振り返って検証し、次の行動の改善に結びつける力